

＜先週の説教から＞

『ルカ ⑩ 一救いの角を起された』

武田 真治 牧師

マラキ書 3:19-24 ルカ福音書 1:67-79

前回は、洗礼者ヨハネの誕生の様子でした。生まれて八日目に割礼を施すために来た人々は、父の名を取って「ザカリア」と名付けようとしたのですが、母エリサベトも父ザカリアも受け入れず、「その名はヨハネ」にしなければならぬと主張します。それはあらかじめ天使から命じられた名付けでした。その主張に従って「ヨハネ」という名前がその子に付けられた時、「たちまちザカリアは口が開き、神を賛美し始めた」のでした。その《讚美歌》が今日の聖書箇所である《ベネディクトゥス》と呼ばれる賛歌なのです。

ただ、この賛歌の言葉は「ほめたたえよ、イスラエルの神である主を。我らのために救いの角を、僕ダビデの家から起こされた。主は我らの先祖を憐れみ、その聖なる契約を覚えていてくださる。これは我らの父アブラハムに立てられた誓い。」とあり、いかにもユダヤ教の祭司であるザカリアらしい内容になっています。旧約聖書で神様がアブラハムや先祖たちに約束されていた“救いの主を送る”という“誓い”が今こそ果たされる時が来たのだから、イスラエルの民よ、今こそみんなで「ほめたたえよ」と鼓舞している言葉です。

その上で、その子ヨハネは「主に先立って行き、その道を備え、主の民に罪の赦しによる救いを知らせる」と、これから後、ヨハネがヨルダン川で為す《悔い改めの洗礼》を示しています。そして更に「高い所からあけぼのの光が我らを訪れ、暗闇と死の陰に座している者たちを照らし、我らの歩みを平和の道に導く」という言葉で閉じられています。この最後の言葉は明らかにイエス様が人々に与えられる“救いの光”であることをあらかじめ語っているのです。このように、これからの出来事をザカリアが語っているが故に、賛歌とは呼ばれずに『ザカリアの預言』と名付けられているのです。

ザカリアはこの時すでに高齢に達していたと聖書に記されています。おそらく、上記のわが子ヨハネの活躍もイエス

様の登場も目にする事なく天に召されただろうと考えられています。言い換えれば、彼はユダヤ教徒のまま亡くなったのでした。その点で後にクリスチャンになったマリアが歌った《マリアの賛歌》とは異なっています。けれども、こうして福音書に残され、後の教会で《ベネディクトゥス》として歌い継がれて来たのは、これらのザカリアの“預言”がまさに成就した、本当だったと信仰者たちがずっと受け止めて来たから《讚美歌》となって行ったのです。そしてこの歌は、代々に渡り「暗闇と死の陰に座している」と思える人達に、必ず「高い所からあけぼのの光」が自分たちの上にも注がれて「歩みを平和の道に導く」と“信じる力と勇氣”を与え、励まして来たのです。この後まもなく、ユダヤ教徒からキリスト教の伝道者となったパウロの回心を初めとして！

【今週の集会】

*聖書研究・祈祷会 I. 5月15日(水) 20:00
II. 5月16日(木) 10:30

聖書: ハイデルベルク信仰問答
祈祷主題: ペンテコステを覚えて
担当者: (水) 金刺 (木) 長田
祈りに覚える人: 阿部さん 阿部さん

【教勢報告】

主日礼拝 男23 女51 計74
祈祷会 I. 男4 女2 計6 II. 男1 女10 計11
日曜学校 幼稚科2 小中科8 計10

【次週主日礼拝】 5月19日(日)

聖書: ミカ書 5:1~4
ルカによる福音書 2:1~70
説教: 「ペンテコステ礼拝・ルカ⑩一主の誕生から始まり」 武田 真治 牧師

讚美歌: 342(1)、32、342、346、482、

【次週当番表】 79(1~2)、27

司式: 茨木長老 奏楽: 勝村 礼拝: 金刺長老
配餐: 飯田 金刺 齋藤 坂田各長老
献金: 兼川 金刺 受付: 飯島 吉岡
会堂準備: 木村 小杉 富澤 長田
橋本 北條

看板: 曾我 週報: 吉岡 お花: 羽倉

【次週集会予定】

礼拝前: ・求道者会 ・聖書輪読会
礼拝後: ・牧師と語る会 ・お茶の会 ・オリブの葉編集委員会
日曜学校教師会 幼稚園理事会

週報

2024年度 教会標語

「主につながり、その枝としてひろげて」

2024年 5月 12日

日本キリスト教団 上尾合同教会

牧師 武田 真治

〒362-0041 上尾市富士見2-3-33

TEL&FAX 048-771-6549

<http://www.ageo-church.org/>